

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築と環境							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)							
担当者	依田 浩敏							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。(B3) ・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。(B3) ・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。(B3) ・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。(A5,B3) 							
日程と内容	<p>4/10 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法</p> <p>4/17 伝熱（熱の伝わり方、断熱、断熱と熱容量）</p> <p>4/24 室内環境の快適性（室内環境の構成要素、温度感覚、温度指標、快適範囲）</p> <p>5/1 日照・日影 1（太陽位置、日照率、日影曲線、日影と建物の配置）</p> <p>5/8 日照・日影 2（日影曲線、日影と建物の配置）</p> <p>5/22 採光（昼光、採光設計、窓の位置と形）</p> <p>5/29 照明（照明の基本計画、所要照度）</p> <p>6/5 結露 1（結露現象、壁体各部の温度、表面結露防止）</p> <p>6/12 結露 2（内部結露防止）</p> <p>6/13 【補講】空気汚染（空気質、シックハウス対策）</p> <p>6/19 音響（残響時間と明瞭度、音響計画上の悪条件とその対策）</p> <p>7/3 室内音響計画（残響時間）</p> <p>7/4 【補講】レポート課題（環境に配慮した大学の実例をあげ、近畿大学福岡キャンパスがエコキャンパスになるための提案）</p> <p>7/10 定期試験に向けた総合演習（60分）と解説（30分）</p> <p>7/17 定期試験（60分）</p> <p>7/24 定期試験解説</p>							
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	20%		
	演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。：達成した ・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。：達成した ・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。：達成した ・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。：達成した 							
反省点	<p>教室が受講生に対して広すぎたため、前の席に移動させて指導した。</p> <p>講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにしたが、事前学習の目的が学生に充分理解されていなかった。まじめに演習に取り組む学生が多かった。</p> <p>補習実施による追加合格者3名。</p>							
来年度の計画	建築士試験に対応した内容についての講義を継続していく。							
授業評価アンケートに対するコメント	<p>毎回、重要事項の穴埋め形式の資料を配付し、授業の後半30分程度で理解度確認のための小テストを実施した。</p> <p>講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにしてる。事前学習（自学自習）の目的であるが、学生の自学自習の時間に充てられていなかったのが残念である。</p> <p>評価はどの項目も学部平均を超え、総合点は8.7点だった。</p>							
履修登録者数	76名	定期試験受験者数	69名	合格者数	64名	合格率	93%	